



さくら湖だより

発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所
〒983-7722
福島県田村郡三春町
大字五方字中ノ内403-4
TEL.0247-62-3145



高柴ひよっこ踊り

この踊りは、郡山市西田町高柴デコ屋敷に約300年前より伝わる踊り「七福神踊り」の中の一部です。毎年小正月に高柴地区の家々を回り、豊作祈願、商売繁昌、家内安全をお祈りする祝芸として伝えられています。今日では、各地のお祝いの席やイベント等で公演を行っています。

今月のお知らせ



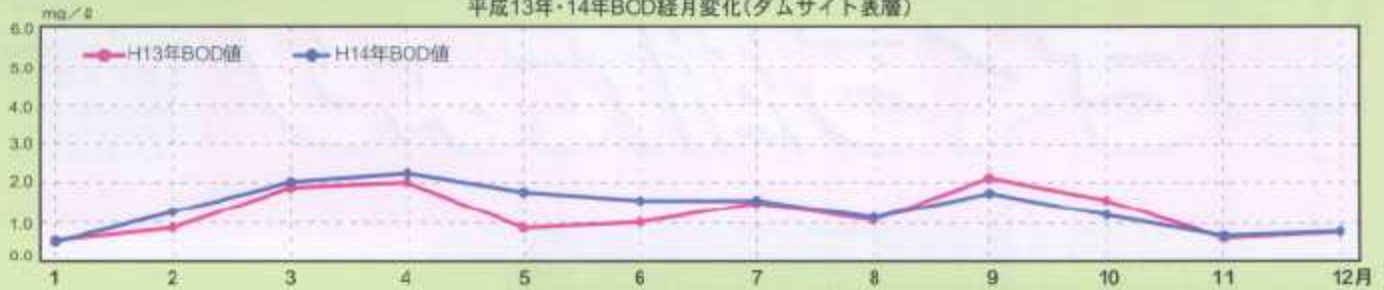
書展 開催中

三春ダム資料館1階展示ギャラリーでは、三月一日(土)から三月二十日(日)までの間「書展」を開催いたします。

郡山市の上石蒼溪氏と、三春町の渡辺魁士氏らによる共同企画展です。たくさんのお客様のご来場を心よりお待ちしております。

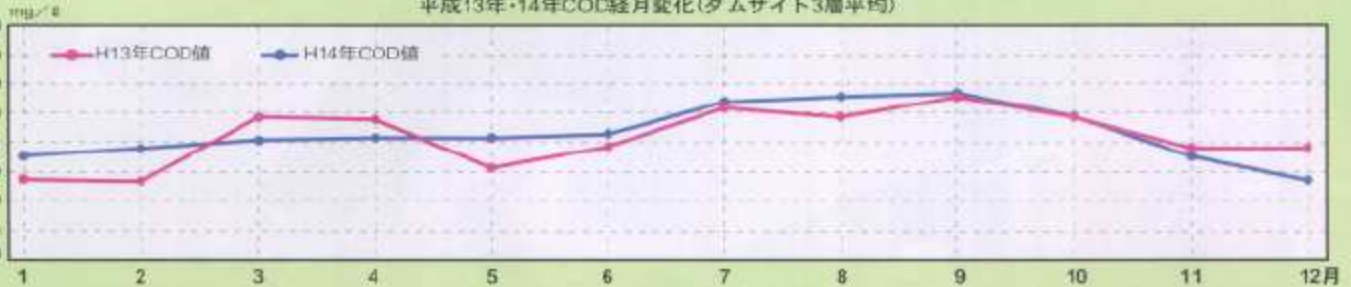
平成14年 さくら湖の水質の状況 (平成13年・14年の水質の動きを月別に表示し、比較したものです。)

平成13年・14年BOD経月変化(ダムサイト表層)



春及び夏に表層BODが高くなる理由としては、表層に繁殖する藻類の呼吸によるものと考えられます。これは、正の誤差として現れることから一般的に停滞性水域(湖等)の指標としては、CODが多く用いられています。平成14年は13年と類似した変動を示していましたが、例年ですと起こる晩春期の藻類死滅と共に下がる傾向が見られませんでした。

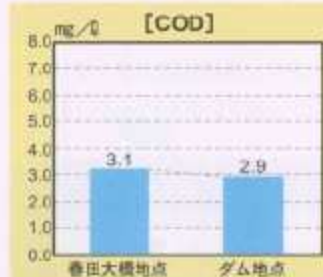
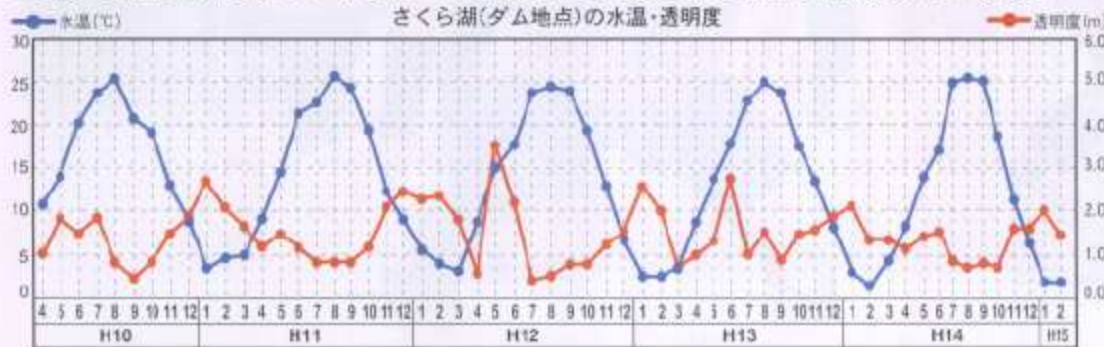
平成13年・14年COD経月変化(ダムサイト3層平均)



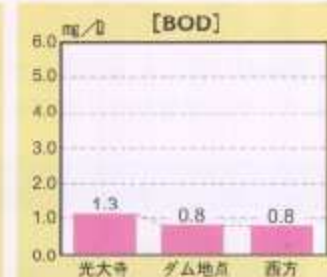
春及び夏にCODが高くなる理由としては、表層に繁殖する藻類影響と考えられます。BOD同様昨年と類似した変動でしたが、やはり、晩春の数値低下は見られませんでした。

水質の状況 (平成15年2月4日現在)

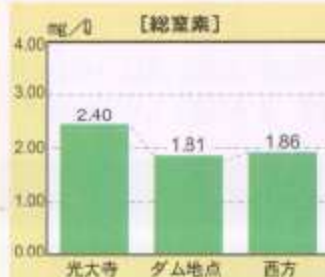
三春ダム管理所では、さくら湖や大滝根川の水質を定期的に観測しています。



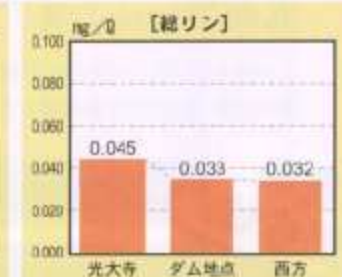
■COD(化学的酸素要求量)
コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。
※全層平均値



■BOD(生物化学的酸素要求量)
大滝根川では2mg/l以下とされています。また、コイ・フナ類が生息するためには5mg/l以下が適当とされています。



■総窒素
一般に窒素が0.15mg/l以上であると富栄養化するとされています。



■総リン
一般にリンが0.02mg/l以上であると富栄養化するとされています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をおまちしています。

郵便またはFAXで 〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX0247-62-3170

■インターネットでも、さくら湖だより・さくら湖管理ニュースを見ることができます。
ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

お願い ダム下流での釣り、水遊びなど河川利用される方は、気象情報・放流情報に充分注意をお願いします。

